



看護学部・看護栄養学部だより

公立大学法人
山口県立大学
Yamaguchi Prefectural University

発行 山口県立大学看護栄養学部 〒753-8502 山口市宮野下 TEL 083-933-1450 FAX 083-933-1483
山口県立大学：<http://www.ypu.jp/> 看護栄養学部：http://www.ypu.jp/index.php?M_ID=6

第13号*

新しい時代を担う看護栄養学部教育

山口県立大学 看護学部長・看護栄養学部長 藤村 孝枝



今年、看護学部看護学科、生活科学部栄養学科の最後の年です。栄養学科は、本学の歴史とともに歩み続けてきた歴史ある学科であり、管理栄養士の養成施設として30年以上にわたって多くの管理栄養士を送り出してきました。一方、看護学科は本学が山口女子大学から男女共学の山口県立大学となった平成8年に看護学部看護学科として開設され、山口県内で初めて大学教育での看護教育を開始しました。そして、3年前に非常に近い実践領域をもつこの2学科が一緒になり看護栄養学部が誕生しました。このような学部改組に至った背景には、数年前からモデル的に取り組まれてきた「ヒューマンケアアプローチ演習」での看護学科、栄養学科、社会福祉学科の学生による事例検討会や3学科による地域での実習を通して、それぞれの職種の特性を理解すると同時に、自分の専門性を再確認することで、他職種との連携・協働のあり方を学ぶことができたという経験がありました。そして、このような教育が有意義であることをこれまでの学生が立証してくれました。現在のカリキュラムでは、1年次よりそれぞれの専門教育という縦糸と、「基礎セミナー」「ヒューマンケア」「他職種との連携」「専門研究」等の学習は、看護学科、栄養学科、社会福祉学科の学生が共に学び合う横糸で織りあげられるよう作成されています。このように学部学科教育の歴史が次の時代の教育へ継承、発展し、山口県立大学の看護学、栄養学教育が深化、拡大していています。そして卒業時には、本学での多くの体験や学びを基礎として、その実践者として誇りをもって社会に飛びたてるよう大学は支援いたします。

第8回 山口看護学会

(旧 山口県看護学研究会)

日時 平成21年10月3日(土)9:30~16:00
会場 山口県立大学 看護学科棟 F204
内容

一般演題報告 (現在演題募集中)

教育講演 「自宅で迎える幸せな最期」

聖路加国際病院 訪問看護ステーション所長

押川 真喜子 氏

栄養学科同窓会「桜栄会」発足

昨年の秋、卒業生の実践活動への相互支援、卒業生と在学生・教員との情報交換、就職支援等を目的に、同窓会「桜栄会」が発足しました。

今年は11月21日(土)13:00~16:00、本学A32にて、総会・研修会・懇談会開催の予定です。

詳しくは、栄養学科ホームページの「桜栄会」をご覧ください。

(※看護栄養学部だより3号となります)

看護学科長からのメッセージ



時代と社会の ニーズに応える 看護学科へ

看護学科長
中村 仁志

新たな年度が始まって早いもので、もう前期が終わろうとしています。初々しかった新入生も今では大学にすっかり慣れたようで、高校生の顔から大学生の顔に変わってきて元気な様子で学習に取り組んでいます。

看護教育では、保健師助産師看護師学校養成所指定規則等の一部の改正（平成20年4月1日）が行われ、今年度より新しいカリキュラムがスタートしています。これは、看護基礎教育の中で「看護実践能力」を獲得する力を養うための改正であり、以下のような問題に対応していくための改正です。

○看護を取り巻く環境の変化

○新人看護職員の臨床能力の低下

昨年度のカリキュラムの変更に引き続き、今年度、保健師助産師看護師及び看護師等の人材確保の促進に関する法律の一部改正が国会を通過し、保健師、助産師教育期間が6ヶ月以上から1年以上に延長され、それによって大学4年間での資格取得教育が大きく変わろうとしています。これも時代のニーズを反映した改正で、看護の教育は大きな転換期に来ていると思われまます。

今後、こうした動きに合わせて、社会の健康に対するニーズに答えられる看護学科として変わっていかねばなりません。

しかしながら看護学科ではこれまで通り地域を視野に入れ、『保健・医療・福祉従事者の一員として、看護の専門的機能を発揮できる能力を養い、社会の様々な分野において人々の健康と福祉の向上に寄与できる人材育成』とした理念を大切にしていきたいと思ひます。

今後とも、教職員一同努力を惜しまず教育を行って参りますので、皆様の暖かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

栄養学科長からのメッセージ

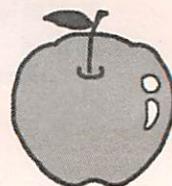


奇跡のリンゴ

栄養学科長
島田 和子

3年程前に、不可能と言われた無農薬・無肥料（有機肥料も使用しない）でのリンゴ栽培をなしとげた木村秋則さんのことがテレビで紹介されていました。その実現に向けて苦闘し、10年近く収穫ゼロになるなど生活がどん底状態のときに、木村さんはある時、無農薬無肥料の山の木が青々と繁り、病虫害に強い秘密は木の下“ふかふかした土”にあることに気づきました。自然から与えられた環境の中で、植物たちは農薬や肥料がなくても生き生きと育っています。そこで、リンゴ畑に雑草を1mの背丈になるほど生やし、土壌に窒素が不足していれば大豆を播いて根粒菌を共生させて窒素分を補給するなど、土を自然の状態に近づけていくと、リンゴは花をつけ、実をつけるようになりました。木村さんはリンゴの木の手伝いをしているだけと言いますが、常に土の状態、害虫・益虫の発生状況を観察し、病虫害予防のために酢を散布するなどリンゴ栽培に手間ひまをかけています。自然栽培されたリンゴは、しっかりとした歯ごたえがあり、甘味と酸味がぎゅっと凝縮されているそうです。

畑を大学、リンゴを学生たちとすると、日々の教育の場に“ふかふかした土”をつくることで、学生たちが自分自身の個性をのびし、専門的な知識・技術を得つつ、逞しく自立していく手助けが少しでも出来れば良いと思っています。しかし、大学での“ふかふかした土”とは何なのか、そしてどのようにしてより良い土づくりをしたらいいのかが私の悩める課題です。



看護栄養学部学生近況報告

看護学科1年 伊藤実沙子

山口県立大学に入学して、3ヵ月が経ちました。入学当初は一人暮らしや友人関係に不安がありましたが、親しい友人もでき、今は充実した大学生活を送っています。看護学科は優しく、面白く、話しやすい人ばかりなので「友人歴3ヵ月？」と疑問に思うくらい皆とても仲良しです。授業は1コマ90分で、専門科目も入ってくるなど、慣れるのは大変ですが、早く慣れるように友人と一緒に頑張っています。

友人たちの声を紹介します。

- ・入学当初は不安でいっぱいだったけど、今は友達もたくさんでき、とても楽しい毎日を送っています。
- ・一日一日が早く、あっという間に時が過ぎる。
- ・肩がこる！でも楽しい！それが大学！
- ・まだ大学生活に慣れていないので、早く自分のリズムを作れるようにしたいです。
- ・生活が大変だが、授業は興味深くて楽しい！
- ・寮に入り3ヵ月。最初は慣れなくて大変でしたが、今は寮に入って良かったと思います。大学生活も楽しいです。
- ・覚えることばかりですが、毎日何かしら出会いがあって楽しいです！

6月に行われた水無月祭の午前の部では、学部対抗で体育祭をしました。学部対抗だったので、栄養学科にも新しい友人ができました。体育祭では優勝でき、団結力も強くなったと思います。午後の部では、伝統である浴衣を着て、模擬店やステージ発表などを楽しみました。

専門職を目指すからには、しっかりと勉強し、色々な経験をしながら悔いのない4年間を過ごしたいと思います。



栄養学科1年 大江千晶

大学に入学してから、3ヶ月がたちました。初めは友達ができるか、勉強についていけるかなどといった不安もありましたが、大学生活にもどうにか慣れてきました。

先日、水無月祭が行われ、午前の体育祭では競技に参加する側も、応援する側もとても盛り上がり、看護学科との合同チームで優勝しました。午後からの浴衣コンテスト、男装女装コンテストではどちらも栄養学科が優勝しました。水無月祭を通して、学科内での団結力が強まり、良い思い出ができました。

サークル活動では弓道部と、料理サークルのヤマヤマに所属しています。弓道部でもヤマヤマでも、1年生も先輩も分け隔てなく和気あいあいとした雰囲気の中で楽しく活動しています。弓道部では普段関わることの少ない他の学科の友達ことができました。経験がなく初心者として入部したので、わからないことも多いのですが、頑張っています。ヤマヤマでは、普段の生活ではあまり作らない少し凝った料理を作って楽しんでいます。サークルのみんなは栄養学科生ですが、興味のある人は栄養学科生でなくてもぜひ参加してみてください。

私は将来栄養教諭になって、小中学生に食の大切さを楽しくわかりやすく伝えたいと思っています。資格をとるためには履修しなければならない科目が増え、大変になると先輩や先生から聞いています。でも、とても魅力的な職業だと思っていますので、なれるように努力していきたいです。

これからの4年間、後悔の無いように、学科やサークルのみんなと充実した生活を送りたいです。

看護学科2年 渡辺 恭介

県立大学に入
学してからあつ
という間に1年
と少し経ち、大
学生活にもだい
ぶ慣れてきまし
た。曾祖母が入



院した時に見た男性看護師にあこがれ、看護学科に入り、勉強、サークル、アルバイトの日々で気づいたら一年たっていたというのが率直な感想です。サークルにもたくさん一年生が入部し、後輩に抜かされたくないというプレッシャーを少し感じています。

今僕たちは基礎看護学実習Ⅱの最中です。初めて見学だけでなく、自分から目的を考え援助できる初めての实習です。自分が計画し、自分が行った援助で患者さんに笑顔で「ありがとう。」と感謝されたときや、一週間ぶりに会う患者さんが元気になられて、一週間前よりも自立し自分で出来ることが増えていたのを感じたときは看護学科に来てよかったと感じます。

実習レポートやグループワーク、学業とバイトやサークルの両立などきついことはたくさんあります。一年生の時とは違い、専門科目が増えてきて、かなり勉強も難しくなりましたが、今回の実習で感じた「ありがとう」という言葉、自立され、笑顔で退院されていく患者さんのことを考えると少し元気が出ます。また男子学生同士で、アイデアを出し合いながら、励ましあいながらレポートを作成することでもかなり助けられています。

始めて見たあの男性看護師に少しでも近づくためにも、患者さんの笑顔をみるためにも、これからは男性看護師にしか出来ないこと、得意なことを考え、実行していこうと思います。

栄養学科2年 栗野 愛里

山口県立大学に入学して、早いもので1年が過ぎました。はじめは何もかも不安ばかりでしたが、持ち前のチャレンジ精神でよい経験をたくさん得て、入学したときよりも一回り大きくなったような気がします。2年生になって、知識を得るだけでなく自分で考えて答えを導くといった実践型の講義が増えてきました。それに伴い、自分ひとりだけではなく、グループで活動する機会も増えてきました。自分だけでは気づか

かったことに気づいたり、みんなで意見を出し合うことでよりよいものを作り上げることができたりと、グループ学習が自分にとってとてもよい刺激となっています。その他にも、人前で発表する機会も増え、どうしたらみんなにわかりやすく伝えられるか、また最後まで飽きずに聞いてもらえるかなど、これから自分が社会に出て行くために必要なスキルを習得するための実践練習のようで、日々ひしひしとやりがいを感じています。また、どの教科も1年生のときに勉強した知識が基礎となっているので、改めて基礎と毎日の講義の積み重ねの大切さを感じました。レポート提出が増えたり、グループワークがなかなかまとまらなくて途方にくれることもあります。応援してくれる家族や支えてくれる友達、そしてたくさんのアドバイスをしてくださる先生方など周りの方々のおかげで忙しくも充実した日々を送ることができています。

昨年に比べて管理栄養士として自分がどうなりたいか、またどういった分野に進みたいかなど、自分の将来のことをより具体的に考えるようになりました。自分の目指す管理栄養士に少しでも近づけるように、今できることに全力で取り組んで大学生活を充実させていきたいと思います。



看護学科3年 桜井 まりな

私達看護学科
3年生は、5月
中旬から6月末
まで、成人期に
ある患者さんと
老年期にある患
者さんへのケア



について学ぶため、2ヶ所の病院へ実習に行きました。実習では、学内では学べない臨床の看護師の役割や、看護師や介護士、リハビリスタッフなどの医療スタッフとの連携について学ばせていただきました。治療・検査・リハビリなど様々な場面に立ち会わせていただくこともでき、看護の難しさと奥深さを実感することができました。さら

に成人看護学実習では手術の場面に立ち会わせていただく学生もいました。術前術後の患者さんのケアや観察ができたり、とてもいい経験をさせていただきました。また、授業では地域で働く保健師の活動の一つである健康教育を実際に自分たちで組み立て、グループごとに発表することも行っています。そして助産師を目指す学生は個人でプレゼンテーションを行うなど、1人1人が自分の目標に向かって努力をしています。3年生になり4カ月経ちますが、先生方の講義を受けたり自己学習を行うことで、日々専門的な知識を増やし有意義な学校生活を過ごしています。個人で行う課題やグループワーク、サークル、バイトと忙しい毎日ですが、とても充実しています!!

看護学科編入3年 中村 真由美

大学に入学して3ヵ月が経ちました。去年まで、みんなそれぞれの場所で、まったく違う生活をしてきた私たちですが、みんな仲が良く、楽しい毎日を過ごしています。今年の看護学部の編入生は10名です。経験・年齢層共に幅広く、専門学校を卒業後すぐに大学に進学した私にとって、看護の大先輩と一緒に勉強できることは、とても良い刺激となっています。私たちは全員がすでに看護師免許を取得しており、看護について坐学や臨地実習を通して一通り学習してきました。しかし、大学での講義や、臨床経験が豊富な看護師さんからの話は勉強になることばかりで、看護の学習の奥深さや、おもしろさを日々実感しているところです。

私は、今までたくさんの友人と出会ってきましたが、その中でも、看護という同じ目標を持った友人は大切な存在です。辛いとき、悩んだとき、同じ目標を持った仲間が身近で支えてくれているというのは心強いものです。今回、大学に編入し、また同じ目標を持ったたくさんの仲間に出会えたことに感謝しています。

これからも、日々の生活や学習の中でいろいろな経験を重ね、人として、看護者として成長できるよう努力していきたいです。また、ここで出会った仲間と一緒に思い出をたくさん作って素敵なキャンパスライフを送りたいと思います。



栄養学科3年 木場 有紗

大学生活も早2年が過ぎ、折り返しの3年生ももうすぐ前期が終わろうとしています。4月から給食経営管理実習が始まり、今までは自分達のためだけに作っていた調理実習が大量調理となると他学年や先生方など自分達以外の人に食べていただく機会が増え、大量調理の難しさや大変さを痛感しています。そして、臨床医学入門や臨床栄養学などの他の授業においても、これまで学んできた内容がさらに専門的になり、まだまだ先のことと捉えていた国家試験や就職活動についても考えるようになりました。

また、昨年度から参加しているランチプロジェクトでは、授業の合間や放課後にポスターを作成したり、定期的に集まって活動計画を話し合ったりと慌ただしい毎日ですが、先生や先輩方にアドバイスをいただき試行錯誤しながら取り組んでいます。

残り1年半となった大学生活ですが有意義に過ごせるよう、いろいろなことに挑戦し一日一日を大切にしていきたいと思っています。



栄養学科編入3年 山崎 麻美

本学に編入学して3ヵ月が経ちました。入学当初は「授業についていけるのか」「友達がたくさんできるのか」など、不安と期待の入り混じった毎日を送っていました。しかし、すぐに同じ編入学の人と仲良くなり、楽しさと期待の方が大きくなりました。勉強面では短大の時と同じ教科でも、その範囲や内容に多少違いがあり、新たに学ぶことが多くあります。

最近、編入学をしてよかった、これは編入生の特権だと感じることもあります。それは学年を越えて多くの人と関わるができるということです。編入生は1年生、2年生、3年生、また来年



入学してくる1年生と、様々な学年の人たちと同じ授業を受ける可能性があります。そのため、自分から積極的に声をかけていけば本当に多くの人と友達になれると思います。大学はたくさんの人と交流を持つ方が充実したものになると思っていますので、編入学して本当によかったと感じています。

これからもっと多くの人と関わりを持ち、勉強にも力を入れて大学生活をより良いものにしていきたいと思っています。

看護学部学生近況報告

看護学部4年 小川 美農里

4年生になって早3ヶ月が過ぎました。今私たちは母性、小児、精神看護の実習に取り組んでおり、4年



間の実習の終盤に差し掛かっています。4年生の実習では、先生達にひとつひとつを指摘されるのではなく、私達の知識と技量がある程度信頼されながらの実施となるために、今まで以上に確かな知識と技術が必要となるため、やりがいをもって充実した毎日を送っています。患者さんも今までとは対象が違うため、授業で習った事を復習しつつも、新しい発見・学びも多くあります。

実習以外には卒業研究や国家試験の勉強、就職試験の勉強に取り組む学生もおり、助産師や養護教諭を目指す人は専門的な授業や実習があります。クラス全員で集まる機会は少なく、少し寂しい部分もありますが、各々もしくは研究室で毎日を過ごし、学校で会っては近況報告をしあっています。

大学に入ってから今まで本当にあつという間で、学内外でたくさんの経験をさせてもらいました。私自身は休学をしていたため、3年生からは下の学年になったのですが、それでも皆に受け入れてもらえ、同級生の優しさを感じたとともに少人数制でお互いを知り合える県大の良さも感じました。ゼミごとに1~4人の学生が配属されるため、ゼミの先生、メンバーともとても仲良くなれるところが県大看護学部の魅力のひとつです。

来年の2月には国家試験があり、その後多くは社会人として働きますが、大学院や他の学校に進学し

勉強を深める者もいます。どこで働くか、ちゃんと仕事をこなせるかなど不安に思うこともありますがいよいよ社会に出られることが楽しみでもあります。

大学生生活残り半年ですが、学生として過ごせる時間を有意義に今だからこそできることをして過ごしていきたいと思っています。

看護学部編入4年 桑名 夏葉

編入をしてから一年が過ぎました。

編入生が卒業時に取得できる資格としては、保健師と助産師、養護教諭第一種があります。助産師のコースは選択ですが、学部生と編入生の希望者の中から試験選抜で選ばれます。編入生の中からも希望者が一名いましたが、全ての希望者が助産師のコースを選択できるわけではありません。心配していましたが、見事助産師コースの試験に通ることが出来、編入生全員が嬉しく思いました。これから実習など大変になってくると思いますが、是非がんばってみたいです。養護教諭第一種の免許は、ほとんどの編入生が希望しているのですが、そのために今年の9月に母校での教育実習を一ヶ月間行います。母校の教室で保健の授業を行うとあって、緊張と不安でいっぱいです。編入生は全員、看護師の免許を持っているので、去年から今年にかけて病院でアルバイトをさせてもらっていましたが、最近は就職試験や保健師の国家試験に向けて、勉強に力を入れ始めたようです。私は先月から、就職を希望する病院でアルバイトを始めました。

勉強があるため月に一度に数日間だけですが、就職する前に、希望する病院で一度働いてみたかったという気持ちが強かったので、アルバイトとして働かせていただくことになりました。働いてみて、ますますここで働きたいと思う気持ちが強くなり、勉強にも身が入るようになりました。

授業も少なく、実家から通う人もいて、最近はお会いする機会も減りましたが、編入生全員、希望する就職先と保健師・助産師の国家試験に受かるよう、励まし合ってがんばっていきたくです。



卒業生は今...

平成20年度 看護学部卒業 玉木彩乃

みなさま、お久しぶりです&はじめまして。

私は今、聖路加国際病院4階西病棟の循環器内科・心臓血管外科の混合病棟で看護師として働いています。4月から2ヶ月のプリセプターシップ期間が終了し、現在は1人で5～8名の患者さんを受け持ち看護を展開しています。病院・病棟の特性上、患者さんの入れ替わりも早く、慌ただしい毎日です。

4年生の夏休みにインターンシップでお世話になった病棟のため、ある程度働く姿をイメージできていたつもりでした。しかし実際に働いてみると、想像以上に自分の未熟さを思い知らされる毎日で、辛いと感じることも多々あります。そんな中、患者さんとそのご家族の暖かいお言葉や病棟の先輩方の温かくそして厳しいご指導、同期の励ましをもらってなんとか働けている自分がいます。

学生時代も、先生方や同級生はじめ多くの人たちに支えてもらっていました。恵まれた環境にあることを感謝しつつ、少しでも成長して還元していたらと思いますが、まだまだ先は長いなといったところです。

追伸：10期生のみなさま。私は職場でもたまちゃんと呼ばれています(笑)



平成20年度卒業生進路状況 看護学科

事 項	人 数		
	計	県 内	県 外
進 学	3	1	2
就 職	46	33	13
(内 訳)			
看 護 師	34	21	13
保 健 師	4	4	0
助 産 師	4	4	0
養 護 教 諭	2	2	0
そ の 他	2	2	0
合 計	49	34	15

卒業生数 49名

平成20年度卒業生進路状況 栄養学科

事 項	人 数		
	計	県 内	県 外
進 学	3	1	2
就 職	38	13	25
(内 訳)			
病 院	12	2	10
介護老人保健施設	3	0	3
福 祉 施 設	4	4	0
行 政	5	3	2
学 校 栄 養 士	3	3	0
食 品 開 発 製 造	2	0	2
食 品 販 売 サ ー ビ ス	3	0	3
給 食 受 託 会 社	3	1	2
栄 養 教 諭	1	0	1
家 庭 科 教 諭	1	0	1
一 般 職	1	0	1
合 計	41	14	27

卒業生数 41名

看護学科・栄養学科 学生数

(人)

看護学部		生活科学部		看護栄養学部			
看護学部 看護学科	4年生 52	生活科学部 栄養学科	4年生 35	看護学科	3年生 60	栄養学科	3年生 46
					2年生 51		2年生 42
					1年生 53		1年生 41

平成21年4月1日現在

平成20年度 看護学部教育研究充実費決算報告

(学生から徴収する教育研究充実費)

<収入の部>

(単位：円)

費目	合計	1年生	2年生	3年生	4年生	3年編入	4年編入	合計
徴収金 (一人当徴収額)	4,855,000	1,590,000 (30,000)	780,000 (15,000)	1,100,000 (25,000)	1,000,000 (25,000)	160,000 (20,000)	225,000 (25,000)	4,855,000
前年度からの繰越金	14,198	3,653	3,584	3,033	2,757	551	620	14,198
雑収入(受取利子)	4,321	1,111	1,091	923	839	168	189	4,321
合計	4,873,519	1,594,764	784,675	1,103,956	1,003,596	160,719	225,809	4,873,519

<支出の部>

(単位：円)

費目	合計	1年生	2年生	3年生	4年生	3年編入	4年編入	合計	備考
臨地実習費	1,672,997	657,810	202,291	586,093	196,774	19,327	10,702	1,672,997	実習要項他
学習援助費	1,595,764	453,803	380,786	185,876	478,106	21,614	75,579	1,595,764	教材実費他
学生返金 (一人当返金額)	1,596,600	482,300 (9,100)	197,600 (3,800)	330,000 (7,500)	328,000 (8,200)	119,200 (14,900)	139,500 (15,500)	1,596,600	
次年度繰越金	8,158	851	3,998	1,987	716	578	28	8,158	
合計	4,873,519	1,594,764	784,675	1,103,956	1,003,596	160,719	225,809	4,873,519	

*教育研究充実費は実費弁済として徴収しておりますので各学年徴収額が異なります。

*1年生は、臨地実習費に小児感染症検査料・聴診器代が含まれます。

*返金後の端数は繰越金としています。

2009年3月31日 看護栄養学部長 藤村 孝枝
(※栄養学科は教授会にて決算報告をしています)

新入教員自己紹介



看護学科

後藤みゆき

4月より看護学科に着任いたしました。後藤みゆきです。担当は老年看護学です。

私は看護師としてがんの専門病院で勤務しながら、大学と大学院で社会福祉を学んできました。現在は当大学院で、終末期がん患者の家族介護者に対する支援を研究しています。今後はこれまでの臨床経験などを基に、人が死ぬことや生きることの意味、死を間近にした人とそれを見守る家族への支援について、医療や福祉の総合的な観点から皆さんと一緒に考えていきたいと思っております。

共に悩み、成長できるよう、色々な事に対する学生の皆さんの率直な声を聞かせてください。どうぞよろしくお願ひします。



看護学科

野坂久美子

看護学科に着任致しました野坂久美子です。担当は成人看護です。

私が看護を始めたきっかけは、高校生の頃に見たテレビ番組です。医学的に回復できないと言われた意識障害を持つ方に、紙屋克子先生のグループが可能性を信じて看護を行い変化を与える姿を見て、何も分からないにも関わらず、何だかドキドキしたことを今でも思い出します。

あれから10年以上が経過しましたが、未だ看護には新たな発見をさせられ、もっと知りたいと欲張る自分を感じます。今回、縁あって皆さんと出会えました。こちらでの生活を色々な角度から味わいながら、面白い!と感じたことを少しでもお伝えしていきたいです。一緒に看護を楽しみましょう!どうぞよろしくお願ひいたします。



栄養学科

原田 良子

栄養学科の助手として着任いたしました原田良子です。担当

科目は栄養教育論実習、食事設計論実習、給食経営管理論実習Ⅰ・Ⅱ、給食経営管理臨地実習、食品衛生学実験です。

4月から生まれて初めて地元広島を離れ、武者修行の思いで山口県立大学にやって参りました。とても緊張する毎日でしたが、教職員の皆様温かく迎えていただき、学生のみなさんとも授業を通じて会話できる機会が増え、新生活にも慣れてきたかなと感じております。

修士課程では、給食施設等で導入の進む新調理システムをテーマに研究しておりました。求められた栄養管理とともに、より現場に見合った調理法・保存法を活用し、衛生面についても考えていけたらと思っております。日々の向上ができるよう探究心を持ちつつ、助手としてしっかりと働きたいです。よろしくお願ひいたします。

編集
後記

「看護学部・看護栄養学部だより」としては今号が最後の発行となります。これからの社会を担うことになる学生たちが、新たな時代を切り拓く力をつけていけるよう、これからも引き続き支援していきたいと思ひます。

編集委員 木戸・中本・空田・乃木・小迫